PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-038795

(43)Date of publication of application: 08.02.1990

(51)Int.CI.

F16L 41/02 B23K 1/18

(21)Application number: 63-188987

(71)Applicant: USUI INTERNATL IND CO LTD

(22)Date of filing:

28.07.1988

(72)Inventor:

MATSUMOTO TAKESHI

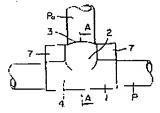
TAKIGAWA KAZUYOSHI

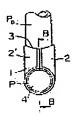
(54) BRANCH PIPE COUPLER

(57)Abstract:

PURPOSE: To heighten the rigidity of an entire coupler by assembling a main pipe and a branch pipe in a coupler main body formed of a plate material comprising a rib curved in the U-form and having the main and branch pipes batch solder welded at the coupler main body.

CONSTITUTION: A rib 7, a branch connection cylinder hole 3 and a cylinder hole 4 are formed by having a plate material curved in the U-form and pressing the right and left sides of the upper opening walls 2, 2' of the U-formed plate material toward the mutually opposing direction so as to form a coupler main body 1. A main pipe P and a branch pipe P0 are assembled in the cylinder hole 4 and the branch connection cylinder hole 3 of the coupler main body 1 and batch solder welded at the coupler main body 1. The solder welding work can be thus improved as well as the rigidity of the entire coupler can be heightened by the rib 7.





LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 平2-38795

⑤Int.Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)2月8日

F 16 L 41/02 B 23 K 1/18

C 6919-4E 8811-3H

F 16 L 41/02

Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

ᡚ発明の名称 分岐管継手

②特 願 昭63-188987

20出 願 昭63(1988)7月28日

⑩発 明 者 松 本

健

静岡県沼津市錦町3番地の1

⑫発 明 者

音川 一儀

静岡県沼津市三枚橋日ノ出町351-1 S-4 303号

静岡県駿東郡清水町長沢131-2

⑪出 願 人 臼井国際産業株式会社

個代 理 人 弁理士 押田 良久

明細書

- 1. 発明の名称 分岐管継手
- 2. 特許請求の範囲
- (1) 板材によりその略中央部をU字状に屈曲し て上側開口壁(2,2')部の左右両側附近を、相互に 対向する方向に押圧して扁平状に当接せしめてリ ブ(7)を形成すると共に、その幅手方向に分岐接 統筒孔(3) を設け、且つU字状の屈曲部のなす底 壁部を前記押圧に伴い分岐接続筒孔(3) に連通す る筒孔(4) としてなる継手本体(1) の該筒孔部に、 周壁部に分流孔(5) を有する一体からなる主管 (P) の該分流孔部、或いは対向する管端部に間隔 (5')を保持して配列した別体からなる主管(P) の なす該間隔部を内挿位置して貫通して係着し、ま た、前記分岐接続簡孔(3) 部に前記分流孔(5) 部 或いは間隔(5')部に連通して枝管(Pa) を組付け、 主管(P) 及び枝管(P。) をそれぞれのなす分岐接 統筒孔(3) 及び筒孔(4) の孔周面に一括鑞溶着し て構成したことを特徴とする分岐管継手。
 - (2) 請求項1記載において、前記分岐接続簡孔

(3) を複数となし、それぞれに分岐する複数の枝管(P。) をそれぞれ分岐接続筒孔(3) に一括鑞溶 着して構成したことを特徴とする分岐管継手。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野.]

本発明は一般に自動車、或いは各種の機械、装置等に燃料、その他給油、給気等の供給路として配設される管径20m/m 程度以下の比較的細径からなる金属管による、下字型等のような分岐管継手に関するものである。

[従来の技術]

従来、この種の分岐管継手としては、例えば第8図に示すように主管(P')の周壁部に設けた分流孔(13)部に、枝管(Pı') 側の端部に形成した鞍状の開口壁(14)部を被着重合して鑞溶着して構成するか、或いは第9図(4) 及び(ロ) (実公昭56 - 16453 号公報)に示すように偏心した軸芯部に貫孔(22)と周側部に該貫孔に連通する分岐接続孔(24)とを設けた棒材によって切削成形した継手本体(21)の使用により、貫孔(22)内部に分流孔(23)

部を位置して主管(P")を貫通して揮着し、同時に 前記分岐接続孔(24)部に枝管(P₁')を組付けてそ れぞれの孔周面とに鍛溶着して構成するかしてな るものであった。

[発明が解決しようとする課題]

しかしながら、このような従来の技術においては、前者にあっては被着重合面での磯溶若に先達つスポット溶接等の仮付けによる位置決めの必要により、鑞溶者に際して作業上の煩わしさを招き、また、開口壁(14)の大きさに加工上の制約をうけて充分に得ることができず、加えて被着重合した構造によって鑞溶着強度の不足を招いてしばで、地を生ぜしめる傾向にあり、更に技管側の管径上の制限を余儀なくされる等の問題を有し、又、後者にあっては、棒材の、特に偏心した切削成形による継手本体(21)の使用によって製品コストを高めることとなり、同時に製品重量を著しく増加する等の問題を有することとなった。

本発明は従来技術の有する前記問題に鑑みてな されたもので、鎌溶着強度の向上に加えて継手全

管を組付け、主管及び枝管をそれぞれのなす分岐 接続筒孔及び筒孔の孔周面に一括鎖溶着して構成 した分岐管継手を要旨とするものであり、更に前 記分岐接続筒孔を複数となし、それぞれに分岐す る複数の枝管をそれぞれの分岐接続筒孔に一括鑞 溶着して構成するものである。

[作 用]

 体の剛性を高めて洩れの愛いをなくすことができ、 更に所望に応じて主管と同径若くは径が異なる枝 管の配設を可能となす等、該枝管側の管径の制限 を緩和し、更に、継手本体としての板材による構 成によって製品コストを低減し、製品を軽量とな すことのできる分岐管継手を提供することを目的 とするものである。

[課題を解決するための手段]

本発明は上記目的を達成するため、板材により その略中央部をU字状に屈曲して上側開口壁部の 左右両側附近を、相互に対向する方向に押圧して 隔平状に当接せしめてリブを形成すると共に、そ の幅手方向に分岐接続筒孔を設け、且つU字状の 屈曲部のなす底壁部を前記押圧に伴い分岐接続筒 孔に連通する筒孔としてなる継手本体の該筒孔部 に、周壁部に分流孔を有した一体からなる主管の 該分流孔部、或いは対向する管端部に間隔を保持 して配列した別体からなる主管のなす該間隔部を 内挿位置して貫通して係着し、また前記分岐接続 筒孔部に前記分流孔部或いは間隔部に連通して枝

の制限を緩和し、更に継手本体としての板材による構成によって製品コストを低減し、且つ製品を 軽量となすことができることとなる。

[実施例]

以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明すれば、第1図は本発明の分岐管継手の平面図、第2図は第1図の側面図、第3図は第1図A-A線の断面図、第4図は第2図B-B線の断面図、第5図及び第6図は他の実施例による第4図相当図であり、第7図は更に他の実施例を示す平面図であって、(1)は維手本体であり、板材によりその略中央部をU字状に屈曲してその上側開口壁(2,2')の左右両側附近を、プレス加工等により相互に対向する方向に押圧して扁平状に当接せしめてリブ(7)を形成せしめその幅手方向に分岐接続筒孔(3)を設け、またU字状の屈曲部のなす底壁部を前記押圧に伴い分岐接続筒孔(3)に連通する筒孔(4)として維手本体(1)を構成するものである。そして前記筒孔(4)部に、周壁部に分流孔

(5) を有する一体からなる主管(P) の該分流孔部

或いは対向する管端部に間隔(5')を保持して配列した別体からなる主管(P)のなす該間隔部を内挿位置して貫通して係着し、更に前記分岐接続筒孔(3)部に、前記分流孔(5)部或いは間隔(5')部にその管端部を対向して枝管(P。)を組付け、主管(P)及び枝管(P。)をそれぞれのなす分岐接続筒孔(3)及び筒孔(4)の孔周面に一括盤溶着してなるものである。(6)は必要に応じて主管(P)の係着附近、或いは枝管(P。)の組付け附近の外周面に設けた環状突起壁であり、継手本体(1)内部での位置決めの容易と鑞溶着強度の向上とを図るものである。

尚、前記主管(P)及び枝管(P。)の継手本体(1)への取付けに際しては、前記底壁部に主管(P)を、また枝管(P。)を前記開口壁(2,2')間に組付けた状態で、その上側開口壁(2,2')側の左右両側附近をアレス加工により対向する方向にカシメ状に押圧して当接せしめ、主管(P)と枝管(P。)の外周面とにそれぞれ密合せしめて前記分岐接続筒孔(3)及び筒孔(4)を構成して一括鎖溶

て継手全体の剛性を高めて洩れの憂いをなくすことができ、更に所望に応じて主管(P)と同径又は径が異なる技管の配設をも可能となす等、該技管側の管径の制限を緩和し、また、継手本体(1)としての板材による構成によって製品コストを低減し、且つ比較的薄肉の板材により製品を軽量となすことができる等、極めて有用な分岐管継手である。

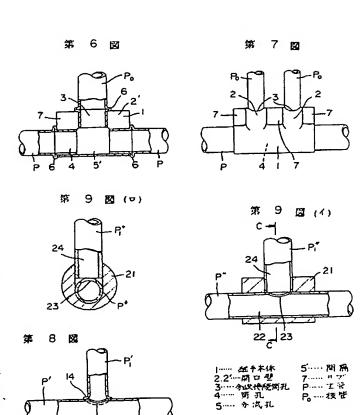
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例を示す分岐管継手の 平面図、第2図は第1図の側面図、第3図は第1 図A-A線の断面図、第4図は第2図B-B線の 断面図、第5図及び第6図は他の実施例による第 4図相当図、第7図は更に他の実施例を示す平面 図、第8図及び第9図(4) は従来例による分岐管 継手の一部切欠き断面図、第9図(a) は第9図 (4) C-C線の断面図である。

(1) …継手本体、(2,2')…開口壁、(3) …分岐接 続筒孔、(4) …筒孔、(5) …分流孔、(5')…間隔、 (7) …リブ、(P) …主管、(P。) …枝管 着してもよいことは当然のことであり、又必要に応じて主管(P) と同径、小径、大径の枝管(P。) の配設を可能とし、更に、前記分岐接続筒孔(3) を複数となし、それぞれに分岐する複数の枝管(P。) をそれぞれの分岐接続筒孔(3) に一括漂溶 着することにより、複数の分岐路を有した分岐管 継手を構成してもよいことは勿論のことである。

「発明の効果」

以上説明したように本発明による分岐管継手は、U字状に屈曲した板材による継手本体(1)の該原曲部のなす底壁部に主管(P)を、同時に上側開口壁部側に枝管(P。)を組付けて該開口壁の左右両側附近での、或いは複数の分岐枝管(P。)によるものにあってはその分岐接続部の間をも含む押圧による当接に伴って形成される分岐接続筒孔(3)及び筒孔(4)とに主管(P)と枝管(P。)とを一括鑞溶着して構成されるため、鑞溶着作業上の煩わしさを軽減して簡易に構成することができ、また分岐接続筒孔(3)の左右両側の当接壁により形成されるリブ(7)によって鑞溶着強度の向上に加え



特開平2-38795 (4)

